

# デジタル水産業戦略拠点整備推進事業 三重県南伊勢地域（南伊勢町デジタル水産業推進協議会）

南伊勢町は、豊かな自然環境と多様な水産資源に恵まれ、県内でも有数の水揚げを誇り、水産業が基幹産業として発展してきた。しかし、急速な人口減少や高齢化が進行しており、担い手の確保が困難となっている。

水産業の現場では、漁業者の減少に加え、漁獲量の減少、魚価の低迷、燃油・餌料の価格高騰といった要因が経営を圧迫している。加えて、漁業における経験や勘への依存、漁獲成績報告や海況記録の手作業・紙ベースでの管理といった、非効率な作業が依然として多く残っており、技術継承や省人化・省力化、コスト削減、収益向上のため、デジタル化による業務改善を図る。

## 構成員

【南伊勢町デジタル水産業推進協議会】

- ・三重外湾漁業協同組合
- ・南伊勢町
- ・三重県（伊勢農林水産事務所）
- ・一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン
- 他

## 対象地域

三重県南伊勢地域



## 検討事項

### ①海洋環境・海洋資源のデータの収集と活用

- ・海洋環境データを統合した見える化システムの構築
- ・資源量の把握や変化を分析するための漁獲量や漁獲成績報告のデータ活用方法
- ・デジタル技術を活用した牡蠣・海藻養殖試験による既存の漁業への展開等

### ②漁協の業務効率化とデジタル化

- ・市場業務フローの見直しやデジタル技術導入による省力化、省人化

### ③宿田曾漁港（第44回全国豊かな海づくり大会開催予定地）の漁港利用と海業振興との連携

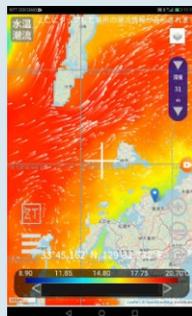
- ・漁港の利活用方法を検討するためのカウンターカメラの導入による利用者数の把握

### ④水産業を起点とした関係人口、交流人口の創出

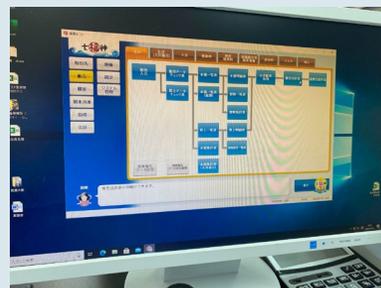
- ・「南伊勢ブランド」をPRするため、ふるさと納税でのSNSを用いた情報発信による水産物の販売拡大

### ⑤水産分野における人材育成

- ・人工知能（AI）を用いた漁業者と漁業就業希望者のマッチングシステムを利用した情報発信の強化
- ・漁業者、漁協職員や行政職員へのデジタル技術勉強会



水温及び潮流の予測情報



漁獲・情報管理システム



市場業務へのデジタル技術導入